

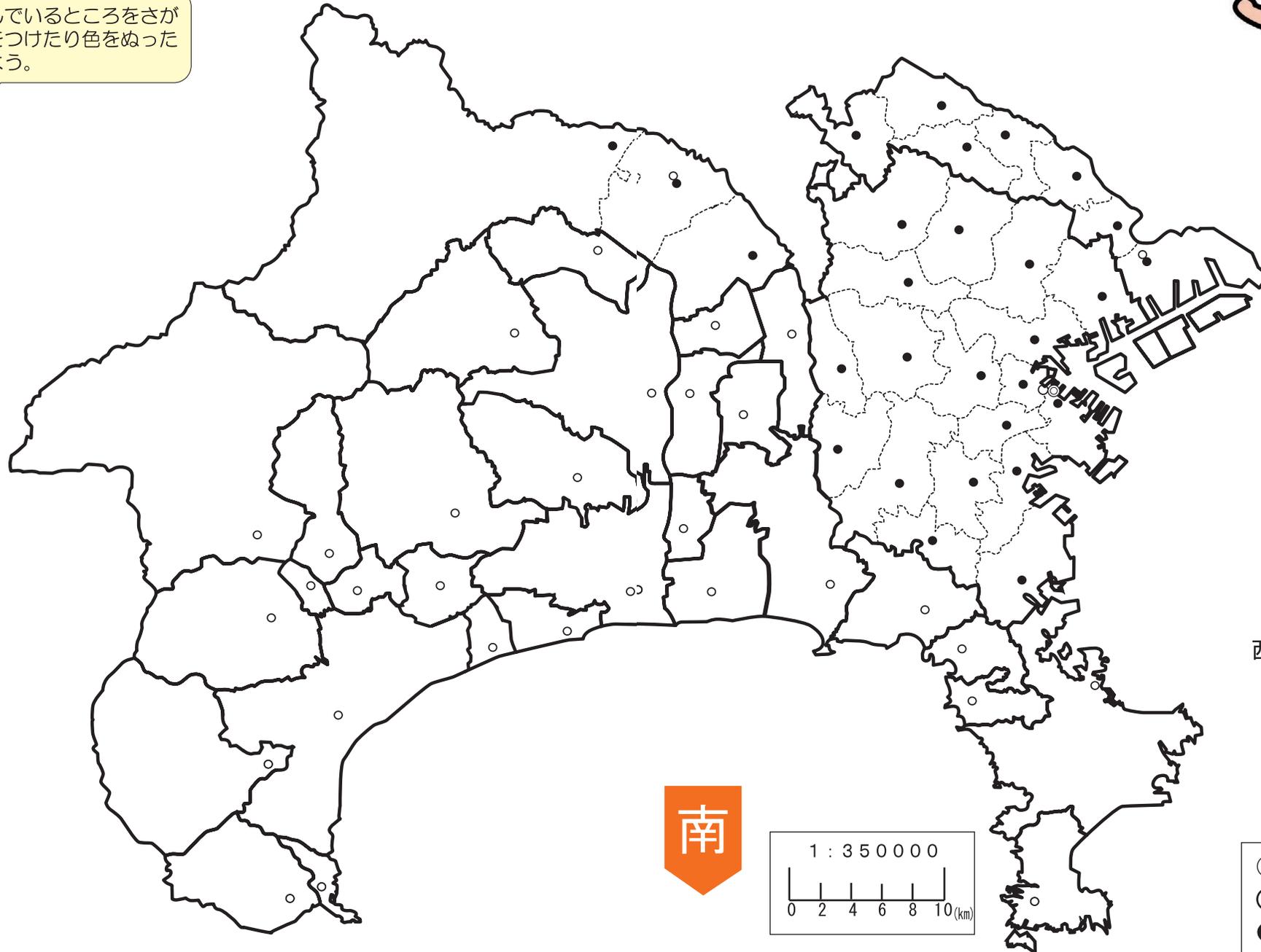
1章 わたしたちの住んでいる神奈川県

1 自分の住んでいるところをさがそう

(1) 地図に印をつけてみよう

自分が住んでいるところをさがして、印をつけたり色をぬったりしてみよう。

◎○●印は^{けんちょう}県庁・市(区)役所・町村役場のあるところだよ。



◎印は、県庁
○印は、市役所・町村役場
●印は、区役所

(2) 神奈川県を見わたしてみよう

神奈川県を、それぞれの地域の人々の動きや地域の特色などをもとに、5つの地域に大きく分けました。

自分たちが住んでいるところの近くの写真をさがしてみましよう。



つくいこ 津久井湖



さがみかわ 相模川と高速道路



あしがら 足柄地域のお茶畑



おおわくだに 大涌谷

へいや 相模平野と相模川 (国土交通省京浜河川事務所提供)

北

とうきょうと 東京都



けいひんりんかいふ こうきょうちだい 京浜臨海部の工業地帯

かわさき よこはま 川崎・横浜地域

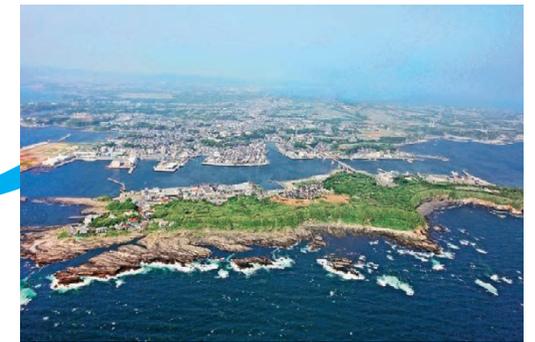


よこはまこゝろ 横浜ベイブリッジと横浜港



海ぞいまで広がる田畑

みうらほんとう 三浦半島地域



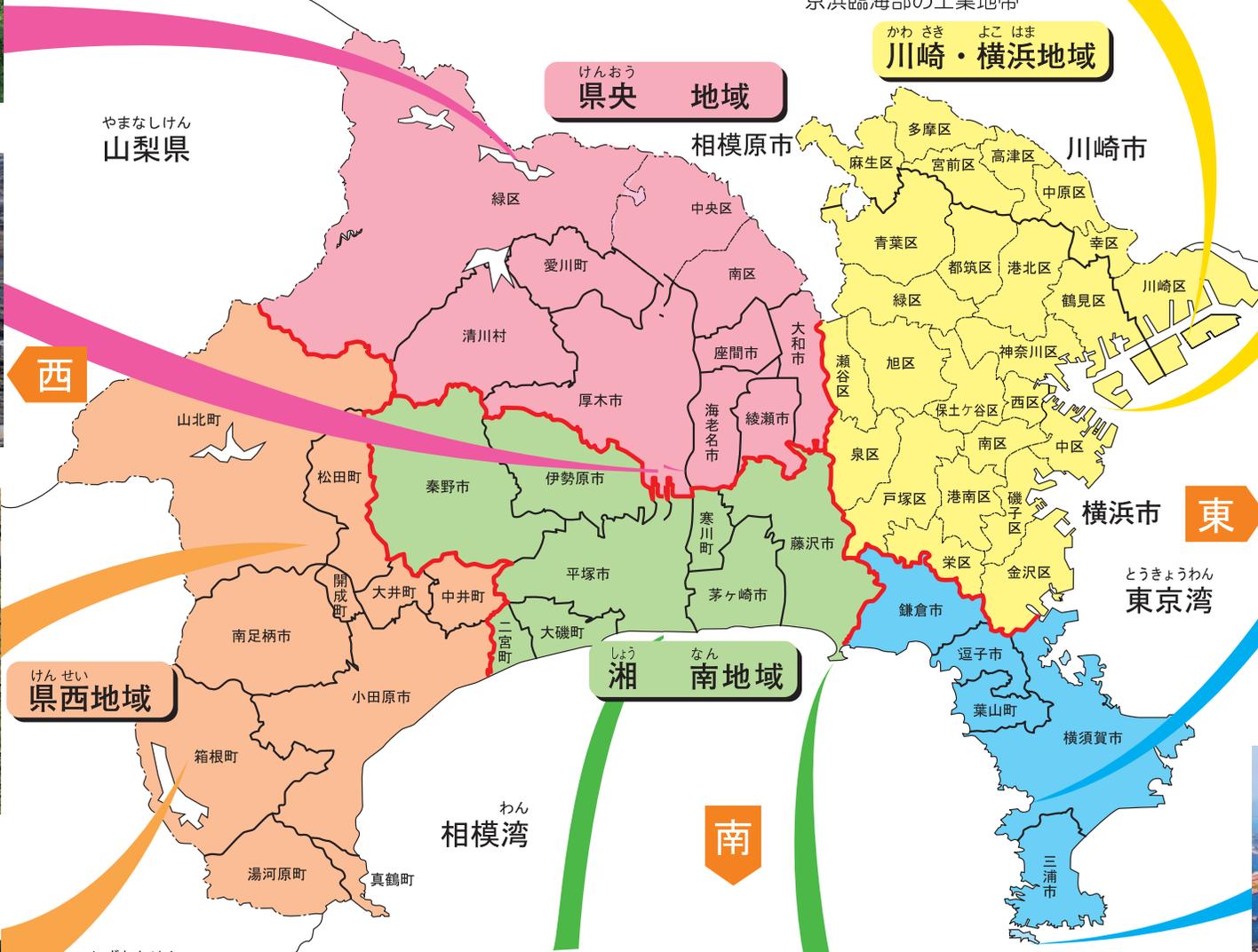
しょうがしま 城ヶ島と三浦半島

南

しょうなん 湘南地域

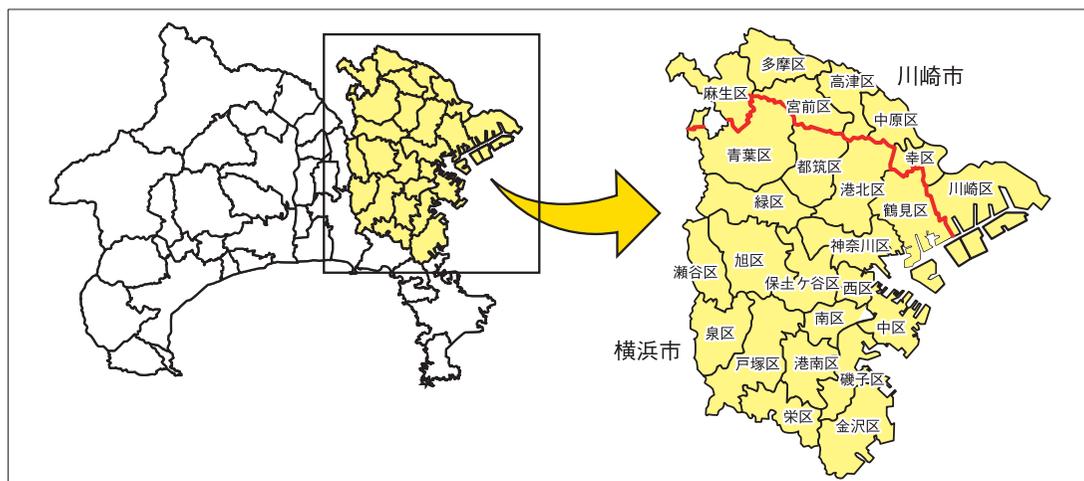


えしほ 江の島と湘南海岸



こせい 2 個性いろいろ33市町村

(1) かわさき よこはま ち いき 川崎・横浜地域



か ながわ けん
神奈川県にはさまざまな
まちや村をもった市町村
があるよ。どんなところ
か調べてみよう！



かわさき し 川崎市



キングスカイフロント

昔は、とうかいどう 東海道の宿場町や川崎大師
もんぜんまち の門前町として栄えました。工業が
さかんな都市として有名で、京浜工
ぎょうち 業地帯の中心として日本の高度経済
成長を支えてきました。げんざいは
最先端のぎじゅつ開発に取り組む会
社や研究所が数多く集まり、研究開
発都市へと変化しています。

とうきょうと さかい たまがわ
東京都との境を流れる多摩川ぞい
や多摩丘陵には豊かな自然が残って
いて、東京都や横浜市に近いことか
じゅうたくち はってん
ら住宅地としても発展してきました。

川崎駅前には大きな地下街やショッ
ピングセンターがあり、休日などには、
多くの人でにぎわっています。



川崎駅西口ターミナル

よこはまし 横浜市

1859年の開港以来、日本の窓口と
して発展をしてきました。横浜には、
新聞、ガス灯など日本ではじめて使わ
れたものがたくさんあります。

横浜ベイブリッジ、中華街などの
観光スポットがあるほか、みなとみ
らい21地区は「国際都市よこはま」と
呼ばれていて、ホテル・国際会議場・
美術館などのしせつが建てられ、

2010年（平成22年）にはAPEC
（アジア太平洋経済協力）の首脳会議、
2013年（平成25年）と2019年
（令和元年）にはTICAD（アフリカ
開発会議）が行われました。

げんざいは、国から「SDGs 未来都
市」に選ばれ、環境、社会、経済のつ
ながり考えた発展をめざしています。

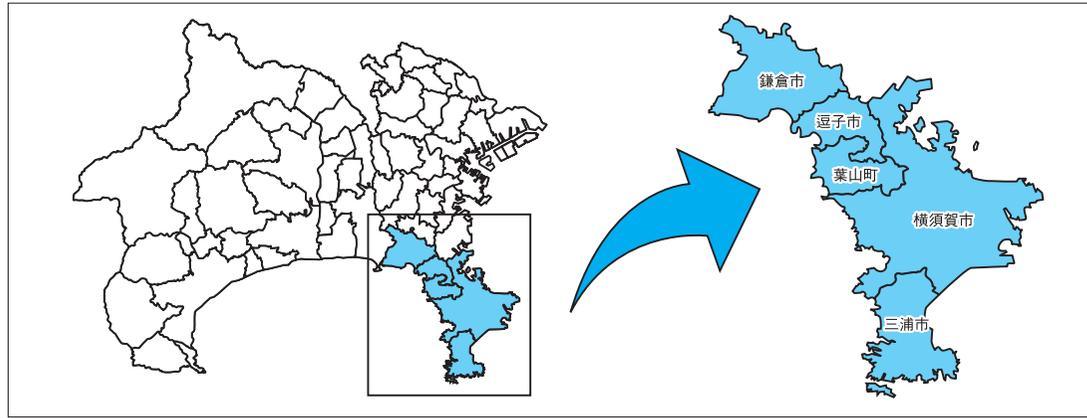


みなとみらい21 横浜港 (C) 横浜観光情報



がいかうかん いえ
外交官の家 (C) 横浜観光情報

みうらはんとうちいき
(2) 三浦半島地域



よこすかし
横須賀市



上空からみたまちの中心地と東京湾

三浦半島の中央にある、海に囲まれた、緑の多い、自然豊かなところです。江戸時代にペリーが来航し近代幕開けの地となつてからは、海軍関係の工場がつくられ、ドック(船の修理をするしせつ)や砲台跡などの戦前の建造物が日本遺産に認定されました。

今では、自動車などの機械工業をはじめとした工場や、情報通信産業などの研究しせつが多くあります。また、平成13年に中核市(人口20万人以上で国から指定された市)となつてからも住宅街や商業地として発展しています。

かまくらし
鎌倉市



こうとくいんだいぶつ
高德院大仏
((公社) 鎌倉市観光協会提供)

今から約830年前に、源頼朝が武士中心の政治を始めたところで、約140年の間、日本の政治の中心として栄えました。今でも、たくさんのお寺や歴史的に重要なしせつが残っています。

明治時代からは、海水浴場や別荘地、観光地として開け、国際的にもその名が知られるようになりしました。

鎌倉彫は、全国に知られた伝統工芸です。

ずしし
逗子市

明治時代の中ごろ、横須賀線が通るようになってから、別荘地として開けました。おだやかな気候と美しい自然にめぐまれ、静かな住宅地として知られています。

また、沿岸漁業(陸に近いところで行われる漁)の漁港があり、海水浴場としてもにぎわっています。



じんむじ
神武寺

みうらし
三浦市

東・西・南と三方を海に囲まれているので、漁業がさかんです。城ヶ島と向かいあう三崎漁港は、遠洋漁業(遠くの漁場で行われる漁)の基地として有名です。

三浦半島の丘陵地や台地は、だいこん、キャベツなどの生産地としても知られています。冬でもあたたかく、海の自然にめぐまれ観光客もたくさんおとずれます。



うおいちば
三崎漁港の魚市場

はやままち
葉山町

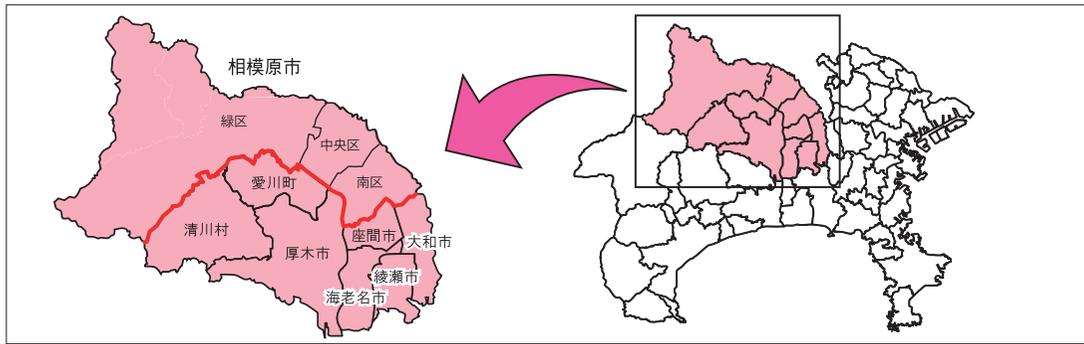
海と緑豊かな山々に囲まれた町です。明治時代になって御用邸など皇族の別荘ができてから、別荘や保養所、住宅がふえ、今では環境のよい住宅地となっています。

日本人がヨットを初めて使った町として知られ、マリンスポーツもさかんです。また、湘南国際村では国際交流や研修などのさまざまな活動が行われています。



森戸海水浴場

(3) 県央地域



さがみはらし 相模原市

平成18年3月に津久井町、相模湖町と、平成19年3月に城山町、藤野町と合peiし、平成22年4月に県内で3つ目の政令指定都市となりました。昔は、養蚕がさかんでしたが、げんざいは、多くの工場が進出し、国内でも有数の内陸工業都市として発展してきました。

平成26年9月、リニア中央新幹線の駅が橋本駅の近くにつくられることが決まり、新しいまちづくりの期待が高まっています。「はやぶさ」で有名な宇宙航空研究開発機構（JAXA）の研究施設もあります。市の西側は、県内で一番高い蛭ヶ岳などの丹沢山地や陣馬山などの山々に囲まれ緑が豊かです。相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖、奥相模湖など多くの湖があり、大事な飲料水として使われています。



陣馬山の山頂



にぎわう市街地



やまとし 大和市

相模原台地にあり、南北に細長く、ほとんど平らな都市です。鉄道が東西南北に走り、交通の便が良いので、住宅や商店などがふえました。緑を残すためにも公園整備が進められています。



泉の森



あつぎし 厚木市

県の中央部にあり、丹沢の山々や相模川など豊かな自然にめぐまれた都市です。古くから交通の中心地で、大山に向かう人の宿場町や物流の集まる場所として栄えました。東名高速道路、さがみ縦貫道路、新東名高速道路などの交通が整備され、大企業の研究所や大学の研究機関などが多く進出しています。

また、鮎つりやハイキング、温泉、イチゴがりやナシがりなどさまざまな観光、鮎まつりや国際大道芸といったもよおしてもよく知られています。



鮎まつり



えびなし 海老名市

奈良時代には、相模の国の国分寺が建てられました。七重塔をもつ大きな建物であったことが明らかになっています。また、昔から米づくりや養蚕、畜産業がさかんでしたが、げんざいは花や野菜・果物の生産が中心です。鉄道や東名高速道路が開通し、交通の便が良いので、住宅や工場がふえました。

3つの鉄道が通る海老名駅周辺には多くのショッピングセンターや高層マンションが立ち並び、市内外の人びとがおとずれ、にぎわっています。



いちごづくり



ざまし 座間市

相模平野の北の方にあり、昔は農業のさかんなところでした。小田急線、相模線などが通っているので、住宅がふえました。西部に相模川が流れ、米づくりが行われています。東部は、工場が多く、コンピュータなどの先進（ハイテク）産業もあります。

市の飲料水の約86%が地下水でまかなわれ、地下水100%のボトル缶「ざまみず」を作っています。夏はひまわりまつりが行われ、市外からもたくさんの方がおとずれています。



ひまわり畑



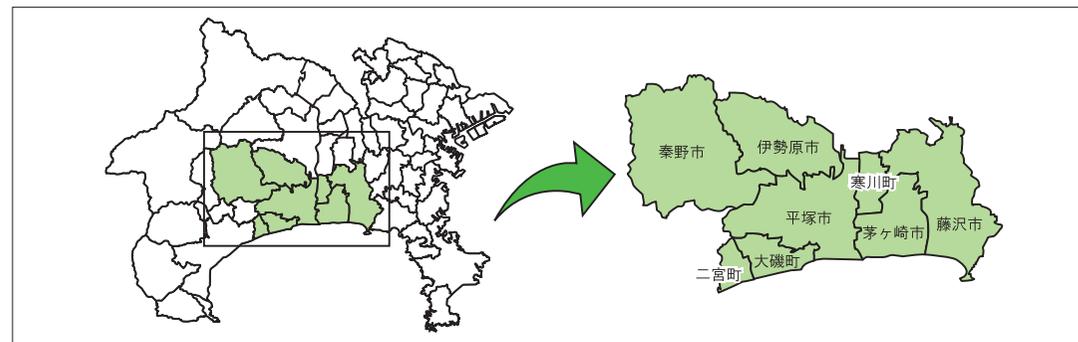
綾瀬市

神奈川県かながわけんのほぼ中央ちゆうおうにあり、緑豊りよくかな自然しぜんにめぐまれています。昔むかしから高座豚こうざぶたの飼育しよくが行われてきました。大きな工業団地こうぎょうだんちがあり、住宅たくわんもふえました。市の約6分の1やくむいぶんのいちが航空基地こうくうきちになっています。



豚の飼育

(4) 湘南地域



平塚市

昔むかしは、東海道とうかいどうの宿場町しゆくばまちや相模川さかを利用した交通りようの中心地しんかちとして栄えました。戦後せんご、計画的なまちづくりが進められ、工業こうぎょう、商業しょうぎやが発展はつてんしました。農業のうぎょうもさかんで、米こめやきゅうりの生産量せいさんりやうは県内トップクラスです。

また、湘南しょうなんひらつか七夕たなばたまつりは有名で、たくさんのおとずれます。湘南平しょうなんだいらからは相模湾さかみわんをはじめ、富士山ふじさんや丹沢山地たんざわさんち、箱根はこねの山々まで見わたすことができます。



湘南平



藤沢市

昔むかしは、遊行寺ゆぎょうじの門前町もんぜんまちや、東海道とうかいどうの宿場町しゆくばまちとして栄えました。今いまでは東海道線とうかいどうせん、小田急線おだきゅうせんなどが走り、住宅たくわん、ショッピングセンター、工場こうじょうなどが多くあります。北部ほくぶの農家のうかでは、野菜やさいづくりや畜産ちくさんなどが行われており、果樹園くだいふくも見られます。

江の島えしまは観光地かんこうちとして有名で、特に海水浴かいすいよくには多くのおとずれます。



湘南海岸と江の島



愛川町

相模川さがみがわと中津川なかつがわにはさまれたひょうたん形の町です。江戸時代えどからの歴史れきしをもつ半原はんばらの撚糸業ねんしぎょう（生糸せいしをねじり合わせて糸いとをつくる産業さんぎやう）は全国的に有名です。

中津なかつの旧飛行場跡きゅうひこうじょうあとにつくられた内陸工業団地ないりくは、緑が多く、環境かんきやうの良いことが特ちょうの工業団地として知られています。

戦国時代せんごくには、北条氏ほうしやうしと武田氏たけだしの間で三増合戦みませかっせんが行われました。



三増合戦場跡



清川村

神奈川県かながわけんの中で、唯一ゆいいつの村むらです。おむすび形むすびがたをした村の大半たいていは山林しぜんであり、自然しぜんの動植物どうじふつの宝庫たからぐらになっています。

また、水量すいりやうの調節ちやうせつ、水道用水すいどうずいの確保かくほなどのため、多目的たもくてきダムとして完成かんせいした宮ヶ瀬みやがせダムは、関東地方かんとうで最も大きい水がめで、東京ドームとうきやうどーむの約100倍やくひゃくばいの大きさです。ダムの周辺しゆへんでは、マラソン大会まらそんたいかいやクリスマスくりすますのイルミネーションなど、さまざまなイベントいふんとが行われ、毎年まいねん、たくさんのおとずれます。



宮ヶ瀬湖 (清川村, 相模原市, 愛川町)

ちがさきし
茅ヶ崎市



えぼしいわ
烏帽子岩

人気のサザンビーチは、夏の海水浴や花火大会には多くの人でにぎわいます。

約180年続いているお祭り「浜降祭」など、たくさんの海にまつわる行事があります。

海ぞいでは、ダムの上流からすなを運び入れ、すなはまのしん食（海の水の力で地面がけずられること）を防ぐための取組に努めています。

また、東海道線に沿って、工場や住宅が建てられています。市の北部には、自然を生かした県立茅ヶ崎里山公園があります。

さむかわまち
寒川町

相模川の河口から上流約6kmにあり、南北に長く、おおむね平らな地形です。町の東部は相模野台地の南西部にあり、そのほかは相模川の流れによってできた低地（川が土やすなを運び平野になったもの）となっています。古くは米、大麦、小麦などの農業がさかんでしたが、最近では、スイートピーや野菜を中心とした温室での農業や、ナシやメロンも作られています。

寒川神社は、相模国一之宮として、全国から多くの参拝客がおとずれます。



スイートピーづくり

はだのし
秦野市



カーネーションづくり

市の中心は丹沢山地を背にした盆地（周りを山で囲まれた低い土地）の中にあります。昔はたばこづくりがさかんでしたが、げんざいは、カーネーション、バラなどの花づくりや落花生、お茶のさいばいが行われています。高速道路のインターチェンジや4つの小田急線の駅があり、交通が便利なことから住宅がふえ、工業、商業もさかんです。自然にもめぐまれ、国定公園である丹沢山地への登山客のげんかん口となっています。

おおいそまち
大磯町

町は海ぞいに広がり、静かな住宅地となっています。町の北部には大磯丘陵が広がり、たくさんの横穴墓があります。平安時代の末には国府が置かれ、江戸時代には宿場町として栄えました。また、明治時代には、海水浴場が開かれ別荘地として栄えました。海岸で行われる火祭りの「大磯の左義長」は国指定の無形民俗文化財になっています。



大磯の左義長

いせはらし
伊勢原市



ブドウづくり

神奈川県ほぼ中央に位置し、古くからの信仰の山「大山」を最高点に、その南東に自然豊かな土地が広がります。2万8千年前には人が住んでいたことがわかっており、文化財も多く残っています。昔から農業がさかんでナシやブドウなどの果物がさいばいされています。

市の東西を走る大きな道路ぞいに工場や住宅が集まっています。

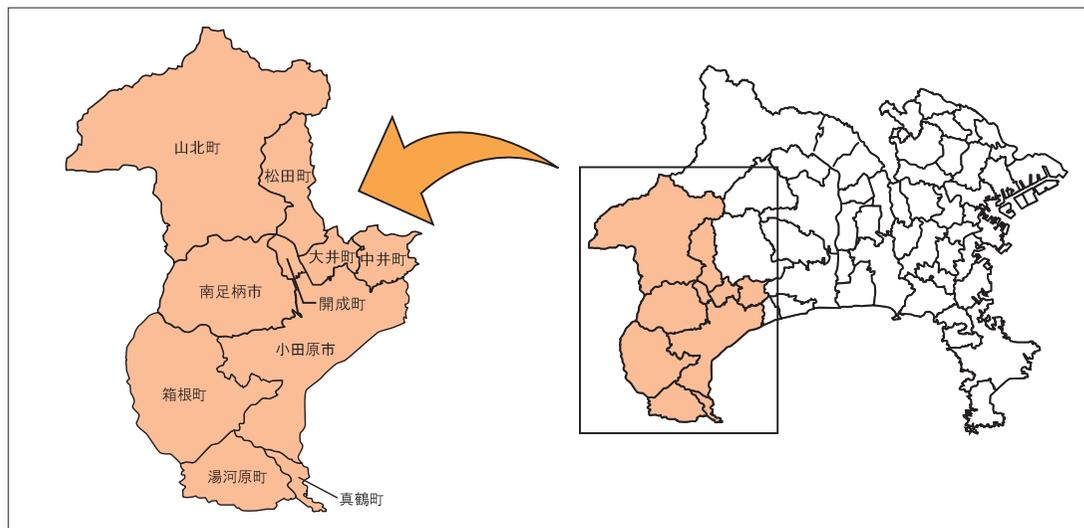
にのみやまち
二宮町

温だんな気候で長じゆの里として知られています。昔は、東海道の大磯と小田原の「間の宿」として栄え、げんざいは小田原厚木道路と西湘バイパスのインターチェンジやJR二宮駅などの交通環境にもめぐまれた住みよいコンパクトな町です。吾妻山公園からは相模湾をはじめ、丹沢、箱根、伊豆、富士山などが一望でき、海と山の豊かな自然を感じることができます。



吾妻山公園

けんせいちいき
(5) 県西地域



おだわらし
小田原市



しょうてんしゅかく
小田原城天守閣

昔は、城下町や東海道の宿場町として栄えました。今では、東海道線、新幹線、小田急線などの鉄道や大きな道路が通り、交通の便が良いので、商業、工業、観光がさかんです。県西地域の中心都市として発展しています。

小田原の名産としては、かまぼこ、ひもの、和菓子、梅ぼしのほかに、小田原漆器、寄木細工、木象嵌などの木製品、鋳物、小田原ちょうちんがあります。川東地区（鴨宮駅周辺）には、ショッピングセンターなどがあり、買い物客でにぎわっています。

みなみあしがらし
南足柄市

神奈川県西部にあり、森林が豊かです。歴史が古く、約1200年前に足柄古道が整備され、金太郎伝説や大雄山最乗寺の天狗伝説などが伝わります。また、豊かな地下水を利用し、昭和の初めにフィルム工場が建設されました。さらに、令和の初めには南足柄市と箱根町を結ぶ「はこね金太郎ライン」が開通し、「道の駅足柄・金太郎のふるさと」の営業が開始されました。

丘陵地では、みかん、キウイフルーツ、お茶づくりなどがさかんです。



きんたろうの像

なかいまち
中井町

大磯丘陵の北西部にあり、地下水が豊かです。温だんな気候を利用して、みかんなどの果物、米や野菜など、いろいろな作物がつけられています。東名高速道路のインターチェンジがあり、近くの工業団地には、企業の研究施設や物流センターもできています。



グリーンテクなかいと
東名高速道路

おおいまち
大井町

西部には足柄平野が広がり、稲作を中心にさまざまな野菜や果物がつけられています。東部の丘陵地でも農業がさかんで、フェイスジョアといった特産品のさいばいもされています。

また、県と町と企業が協力し「未病」（健康と病気の間の状態）がテーマのしせつ「BIOTOPIA（ビオトピア）」もでき、多くの人々が利用しています。東名高速道路のインターチェンジから続く国道には、大型スーパーなどが並び、町内最大の公園「大井中央公園」や新たな住宅地も整備され、発展を続けています。



大井中央公園

まつだまち
松田町



松田山ハーブガーデン

東名高速道路のインターチェンジ、御殿場線や小田急線の駅、県立病院があり、足柄上郡の交通と医りょうの中心地になっています。

また、松田山の観光みかん園やハーブガーデン、寄地区を流れる中津川は多くの観光客でにぎわっています。

やまきたまち
山北町



丹沢湖と富士山

県の北西部に位置し、足柄茶の産地としてお茶のさいばいや生産がさかんです。町の北部は丹沢大山国定公園に指定されています。春には山北駅周辺の桜並木、夏は丹沢湖でのカヌーマラソンや花火大会、秋には紅葉の丹沢湖畔でのマラソン大会など一年を通して楽しむことができます。

かいせいまち
開成町



あじさいの里

足柄平野の中心にあり、町の花であるあじさいや水田に囲まれた風景が広がっています。県内で面積が一番小さい町ですが、住宅整備がすすみ人口が増え続け、商業も発展しています。良質な水を利用した大小さまざまな工場があり、特産品の開成弥一芋やはるみ（米）の生産にも力を入れています。初夏に行われる開成町あじさいまつりや秋の開成町阿波おどりに、県内外からたくさんの方がおとずれます。

はこねまち
箱根町

約40年以上におよぶ箱根火山の活動により、芦ノ湖などの雄大な景観を造り出し、豊富なわき水をたくわえ、温泉をもたらしました。古くから街道が通ったことで、元箱根石仏群や関所、箱根旧街道など歴史的な遺産もたくさんあり、多くの観光客がおとずれます。また、豊かな温泉があることでも知られ、伝統的工芸品の寄木細工も有名です。



芦ノ湖と富士山

まなづるまち
真鶴町

箱根火山の南東にあり、相模湾に真鶴半島がつき出た形になっています。漁業や石材業がさかんで、北部でとれる本小松石は全国的にも有名です。真鶴半島は県立自然公園に指定されており、国指定重要無形民俗文化財である貴船まつりは多くの人でにぎわいます。源頼朝が安房国（今の千葉県）に向けて船出をした地としても知られています。



真鶴港

ゆがわらまち
湯河原町

神奈川県のもっと南西にある町です。海・山・川・温泉という自然環境にめぐまれ、海を望む丘の上では、みかんづくりがさかんです。湯河原梅林、さつきの郷、あじさいの郷、もみじの郷があり、一年中、観光客がおとずれます。



湯河原梅林

